

《 共に育ち学びあうための学習会・2022春 》

「共に過ごす」は 教師が変わる、子どもが変わる

小さな時から一緒に過ごすことが大事と言いますが、支援を名目にしてますます早くから分けられてきています。学校でもできる・できないの評価が強まり、普通学級も入りにくい、居づらい場所となっているようです。ですが、一緒に過ごせば、ありのままを受け入れ関わることに気づき豊かな学びが生まれます。そんな学級・学校をふやしていけないものではないでしょうか。千代山奈生子さんと子どもたちとの取り組みをお聞きして、そのヒントにしていけたらと思います。

2022年3月27日(日)

1時30分～4時30分 資料代500円

熊谷市市民活動支援センター（熊谷駅から徒歩10分 ☎048-522-1592）

1階 ミーティングスペース+交流スペース

～ プ ロ グ ラ ム ～

- ・千代山奈生子さんのお話「共に過ごすこと」
 - ・鈴木楓華さんの受験・高校生活の報告
 - ・秋池優太さんの高校生活・卒業の報告
- 学習会終了後（または休憩時間）個別相談もできます。

＜千代山奈生子さんのプロフィール＞
小学校教員
子どもたちと共に過ごす実践を人権教育研究集会などで発表

ズーム参加できます（希望される方はメールを）

＜主催＞ みんな一緒に・埼玉連絡会 mail: donokomo1987@yahoo.co.jp

連絡先：048-942-7543（竹迫） 048-839-3234（関）

＜共催＞ 一社・埼玉障害者自立生活協会/埼玉障害者市民ネットワーク/どの子も地域の公立高校へ・埼玉連絡会 TOKOどの子も地域の学校へ！公立高校へ！東部地区懇談会/誰もが共に生きる地域をめざすペンギん村（浦和）さやまのペンギん村/所沢・教育と福祉を問い直す会/坂戸市障害者福祉市民ネットワーク

「共に過ごすこと」

大里地区人権・同和教育研究協議会 千代山奈生子

1. はじめに ～Bさん親子から学んで～

5年前、私が担任していた6年1組の子どもたちと特別支援学級に籍を置くBさんが一緒に取り組んだ長縄跳び。市内陸上フェスティバルの翌日、Bさんのお母さんから嬉しいお手紙をいただきました。「からかいやいじめが続いていて、『もう何もできない』のだとあきらめていました。そんな中、運動会につづき、フェスティバルとがんばっている姿をみて、言葉がありません！何といても、Bが産まれてはじめてみるのですから……。親子でふんばって生きてきて、良かったと思える日でした！」Bさんが途中から参加することになった時、私はためらっていました。そんな私の気持ちが変わったのは、Bさんと共に過ごす中で、クラスの子どもたちがどんどん優しく成長していく姿を見せてくれたからです。Bさんがいてくれたからこそ、私は気持ちを変えることができたのだと実感しました。私は、Bさんのことを、「すぐに切れて周りの友だちとトラブルを起こす子」「手のかかる子」などと捉えていました。実は、私がそう思うことで、Bさんと6年1組の子どもたちとの関係を切っていたのだと気づかされました。その姿こそ、Bさんは、からかいやいじめに負けないように、必死で立ち向かっていた姿であることに気づかされました。目を開かされたのです。その手紙が、私自身の教師としてのあり方を変えてくれました。

Bさんは地元の中学校へ行かず、特別支援学校の中等部へ進学していきました。その後、私は、Bさんのお母さん、特別支援学級の担任と時々会う機会を持ちました。Bさんが中等部の3年生になった時、公立高校へ進学したい、特別支援学校の高等部卒業では高等学校卒業の資格が得られないことを、その時初めて知りました。数学や英語の授業が殆どなかったので、学習塾に通っていることも聞きました。Bさんとお母さんの思いを知り、私の自宅での勉強会が始まりました。毎週一回親子できてくれ、Bさんは公立高校へ入学していきました。高校では、Bさんに支援員をつけることを約束してくれました。そして、勉強会の時、気を許せる友だちができないこと、数学や英語の授業がよく分からないことを私に話してくれました。半年ほど経って、お母さんから、Bさんが「赤点」が多いので2年生に進級できないかもしれないと相談を受けました。Bさんの大変さが痛いほど分かりました。お母さんは高校の先生としっかり連絡を取り相談して、提出物を出すこと、宿題をすることをBさんに伝えてくれました。私も、「どの子も公立高校へ・埼玉連絡会」にお母さんと二人で参加し、アドバイスをもらうなどしました。Bさんは無事に2年生に進級することができました。今、Bさんは「図書館司書になって働きたい。」「本が好きだから。」と自分の夢を話してくれ勉強会が続いています。

目の前の子どもの今を大切に、その現実から進路を見据えてできることを、その子どもと親御さんと一緒に考えていくことの大切さを、Bさんから学ばせてもらいました。

.....

この続きは、学習会の資料として配布します。

Bさん（鈴木楓華さん・熊谷農業高校2年生）親子も学習会に参加して、受験や進級、高校生活など語ってもらいます。千代山さんにはその後担任した補聴器をつけている子どもやその周りの転校生など、さまざまに関わり合いながら学んでいる子どもたちのようすも話してもらいます。

どうぞ学習会にご参加ください。